



清水 正之 議員

均等割、減額になるといふね

**問** 国民健康保険の広域化が始まる。嵐山町の一人当たりの保険料は9万4608円との報道。この税額は郡内でも高い税額となっている。一般会計からの繰り入れや少子化対策も考慮しての第三子均等割免除の考えは。

**答** 町民課長 町の一人当たり医療費は平成28年度は36万141円で県内5番目。したがって保険料必要額・納付額も高くなる。健康な体づくり・重症化の予防対策等による

## 第三子均等割免除の考えは

### 答 均等割免除は行わない

医療費の削減に取り組む。法定外繰り入れは行わず健全な運営を行う。算定には均等割りがあり、国保税が多くなる。低所得世帯には軽減制度があり7割・5割・2割の軽減に変更し、第三子の均等割り免除は行わない。

### 生活保護制度 見直しの考えは

**問** 生活保護費の引き下げが進められようとしている。これにより、町は制度に影響を及ぼす。当然、制度から除かれる世帯も出る。影響する制度にはどんなものがあるか。制度の見直しの考えは。

**答** 町の木・花は梅とツツジである。これを推進して町の活性化を図る考えはないか

### 町の木・花の推進について

**答** 健康いきいき課長 今年10月に見直しを段階的に実施する方向で検討。影響を受ける制度は47項目ある。実態を考慮し、影響のないように対応する。町の制度で影響が出る制度は、趣旨や目的を考慮し、検討していく。



千手堂小千代山緑地に山ツツジを植栽するボランティア

験などを実施。山ツツジは、千手堂小千代山緑地に200本の植栽を実施した。ツツジは

里山の植栽を行い、かつての景観を取り戻したい。



安藤 欣男 議員

行政区の再編を検討の時では

**問** 越畑地内の進出企業の操業内容を聞く。

**答** 企業支援課長 大手ドラッグストアの配送Cで埼玉県北西部及び群馬を力バする配送拠点として稼働し、従業員は158人、町内から28人が勤務。

**問** インターランプ内地区の民間開発事業の進捗と課題を聞きたい。



越畑地内物流センター（ウエルシア）

現在、事業者は都市計画法に基づく開発許可申請に向け準備中。

## 企業誘致と工業団地開発の進捗は

### 答 花見台拡張計画は県企業局で推進!!

### 新しい行政展開 方策について

**問** 町民と協働の町づくりの展開、方向性は。

**答** 地域支援課長 第5次総合振興計画では「町民と行政の協働による調和の取れたまち」を第一の施策としている。人口減少、少子高齢社会が益々進むことが考えられる。町民との協働なくしては自治体は成り立たなくなる。

### 町の見直しについて

**問** 町の見直しについて進捗と課題を聞きたい。

**答** 企業支援課長 県企業局による各事前調査や境界確認が完了する。県議会で今年から3カ年事業で「嵐山花見台工業団地拡張地区産業団地整備事業」として審議中、議決後に年次計画や詳細な工程計画が示される。来年度の用地交渉や都市計画手続きに向け準備している所である。

**問** 企業支援課長 用地の取得や地区計画の都市計画手続きや農用地区域除外の調整は完了した。